

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスあさがおねっと		令和7年4月1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	個室・静養室・活動スペース等(運動する部屋・机上遊びができる部屋)がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・作業療法士・支援員など概ね10名程度の職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	手すりやフロアマットの使用をしている。	フロアマット等古くなったものの張り替えや、日々メンテナンスを行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	支援前・支援後に各部屋の掃除や消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に合わせて、個別部屋を利用し支援に努めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	会議等で振り返りを行い、行動に移している。	より細かい目標設定や、その振り返りの徹底を行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケートや家庭訪問を実施し、業務改善に努めている。	保護者様から常に高い評価を得られるように、日々業務に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	事業所会議などで職員の意見を出し合い、業務改善に努めている。	日頃から意見を出し合える時間の確保を行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14%	86%		外部評価を行うようにし、さらに業務改善に繋げていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	オンライン研修も含めて、職員全体に研修に参加する機会を設けている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	面談や会議で保護者と連携をしニーズや課題を明らかにし、分析したうえで計画を明らかにしている。	職員間でも話し合い、計画の作成に取り組む。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々ケース記録等を残したり、ケース会議を行い共通理解をし、作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画をいつでも見れるよう専用ファイルを作成している。	計画に沿った支援ができるよう、日頃から計画を見る習慣をつける。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%		様々なツールを用いたアセスメントや日々の行動観察を全ての職員が行えるように努める。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	必要な項目をそれぞれ設定し、具体的な支援内容も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	会議等で職員全員で意見を出し合い、子どもに合わせて立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日担当職員を変えたり、内容をかえることで固定化されないよう工夫をしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	状況や年齢に合わせて活動内容を変えている。	活動内容が一定化されないよう工夫しながら支援を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	全職員が周知できるように確認をしている。	伝達漏れがないように、打ち合わせ時間を設けるなどの工夫を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	気になったことや、保護者様から得た情報等を共有している。	その日出勤していない職員にも、確実に情報共有できるように「共有ノート」等のツールを使用する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎日ケース記録をつけ、支援につなげている。	ケース記録を日々見返す習慣をつけ、支援に努められるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングを行い、相談支援員と連携を取り、気にかかる点は共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	複数を組み合わせ支援ができるように設定し、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	こどもたちそれぞれの意見を聞き、尊重できるような支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参画し、会議前に他の職員にもこどもの様子を確認している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		連携し、全ての職員が周知できるように努めなければならない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	電話やこどものお迎え時に連絡や、情報共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	情報を共有し、支援方法を一致させる等工夫を行っている。	情報共有したものを、全ての職員が見れるように改善を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	86%	14%	一部行っている利用者もいる。	今後全ての利用者に対して行えるように努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	設けており、定期的に研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	系列事業所間で交流している。	交流し活動する機会を今後作れるように努める。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	29%		機会があれば積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々子どもの情報を伝える為、送迎時に時間の確保をしている。	送迎時だけでは伝えきれないこともあるため、対策を考える。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57%	0%	子供が不安になった時の声掛けの仕方等を果たえることがある。	全ての職員がペアレントトレーニングを出来るように日々の支援を行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時の面談にて必ず説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングを行い、家族の意向を取り入れている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画の確認をしてもらい、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談があった場合家族支援を行ったり、助言をしたり、職員間で共有し解決に努めている。	全ての職員が助言や支援を行えるように、日々の業務に努める。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%		保護者会の開催を積極的に行い、それぞれ交流する機会を設ける必要がある。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情について確認し、迅速に対応するようにしている。	苦情につながらないように、体制を整え情報共有などの徹底を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月2回のブログ更新や2か月ごとに紙面での活動報告をしている。	ブログの内容が一定化しないように、常に新しいことを発信できるように努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	71%	29%	全ての職員に周知を徹底している。	定期的に、個人情報の取り扱いについて話し合い、常に気を付けられるようにする。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	その都度、必要な配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	71%	29%	夏まつりやイベントごとに参加できるように計画している。	積極的に近隣住民方や、地域の子どもたちを招待する機会を作れるよう努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	事務所にマニュアルを保管している。	訓練の実施回数を増やす必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	防災訓練・学習を月に1回以上行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者の情報共有によって把握・対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	保護者の情報共有によって把握・対応している。	指示書がない子どももいるので作成してもらう必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	定期的に研修を受けている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	71%	29%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集を作成し、共有している。	確認できない場合もあるため、時間を設けるなどの工夫をしたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	月に1回事業所会議で、虐待について話し合いを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	記載し、了承を得ている。		